

# 令和6年産サツマイモ基腐病対策の防除暦

令和5年10月作成

**持ち込まない** (健全苗の確保), **増やさない** (発病株の除去, 適期防除), **残さない** (残さの分解促進) を徹底しましょう

月 旬		育 苗		本 ぽ																												
		健全苗生産が基腐病対策の基本!		排水対策, 異常株除去と予防防除を!																												
1月	上旬	挿し苗増殖	<b>バイオ苗は必要本数を早めに準備する。</b> (※バイオ苗の注文に関しては, 農協や取り扱い会社にお問い合わせください。)	<b>健全ほ場の確保</b> 種いも生産ほ場は, 水田やさつまいもを数年栽培していないほ場で行う。	<b>前作で被害の大きいほ場での対応</b> ・輪作または交換耕作 前年に水稲を栽培した水田や, 2年以上さつまいもを栽培していないほ場で栽培する。 ・他作物への転換 基腐病菌の密度を低減するため, サツマイモを連作せず, 他作物へ転換する。																											
	中旬					<b>種いも選別</b> 伏せ込む前に, 病害や傷の見られる種いもは必ず取り除く。	<b>ほ場の準備</b> <b>畑の土づくり</b> 完熟堆肥を施用することで通気性, 透水性, 保水性などが良くなるため, 1t/10aを目安に施用する。また, 化学肥料も地域の栽培基準を参考に施肥する。																									
	下旬							<b>植付苗の消毒※1</b> 	<b>ほ場排水性の改善</b> ・ほ場は額縁明きよの設置や, 枕畝の除去, 枕畝を切るなどを行い, ほ場外への排水を促す。 ・ほ場外の排水路のつまりがないか確認する。																							
2月	採苗	<b>異常株の除去</b> 定期巡回により葉の黄変やしおれ症状を示す株を早期に見つけ, 株ごと抜き取って, ほ場外に持ち出す。	<b>品種の選定</b> 基腐病抵抗性は品種間差があるので, 用途やほ場の状況に応じて抵抗性も考慮しながら品種選定を行う。																													
				<b>育苗床の後片付け</b> 育苗が終了したら, 速やかに残さを持ち出し, 複数回耕うんして残さの分解を促進する。	<b>栽培管理</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抵抗性の程度</th> <th>該当する主要な品種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やや強</td> <td>こないしん, みちしずく, べにまさり</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>シロユタカ※</td> </tr> <tr> <td>やや弱</td> <td>コガネセンガン, 高系14号</td> </tr> <tr> <td>弱</td> <td>べにはるか</td> </tr> </tbody> </table>	抵抗性の程度	該当する主要な品種			やや強	こないしん, みちしずく, べにまさり	中	シロユタカ※	やや弱	コガネセンガン, 高系14号	弱	べにはるか															
						抵抗性の程度	該当する主要な品種																									
やや強	こないしん, みちしずく, べにまさり																															
中	シロユタカ※																															
やや弱	コガネセンガン, 高系14号																															
弱	べにはるか																															
3月	後片付け・土壌消毒	<b>育苗床の土壌消毒※2</b> 消毒効果を高めるため, 地温, 土壌水分を確保し, 土壌混和後はビニールで全面被覆する。	<b>ほ場での薬剤防除※4 散布例</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">植付前</th> <th colspan="3">植付後</th> </tr> <tr> <th>畝立て前</th> <th>苗消毒</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1例</td> <td>フリントフロアブル25の全面散布土壌混和</td> <td>ベンレート水和剤</td> <td>植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)</td> <td>1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)</td> <td>2回目から30日後 トリフミン水和剤 (300L/10a)</td> </tr> <tr> <td>2例</td> <td>フロンサイドSCの全面散布土壌混和</td> <td>ベンレート水和剤</td> <td>植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)</td> <td>1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)</td> <td>2回目から30日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)</td> </tr> <tr> <td>3例</td> <td>—</td> <td>ベンレート水和剤</td> <td>植付から35日後 アミスター20フロアブル (100L/10a)</td> <td>1回目から14日後 銅剤 (200L/10a)</td> <td>2回目から14日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	植付前		植付後			畝立て前	苗消毒	1回目	2回目	3回目	1例	フリントフロアブル25の全面散布土壌混和	ベンレート水和剤	植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)	1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)	2回目から30日後 トリフミン水和剤 (300L/10a)	2例	フロンサイドSCの全面散布土壌混和	ベンレート水和剤	植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)	1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)	2回目から30日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)	3例	—	ベンレート水和剤	植付から35日後 アミスター20フロアブル (100L/10a)	1回目から14日後 銅剤 (200L/10a)	2回目から14日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)
					区分	植付前		植付後																								
				畝立て前		苗消毒	1回目	2回目	3回目																							
1例	フリントフロアブル25の全面散布土壌混和	ベンレート水和剤	植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)	1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)	2回目から30日後 トリフミン水和剤 (300L/10a)																											
2例	フロンサイドSCの全面散布土壌混和	ベンレート水和剤	植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)	1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)	2回目から30日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)																											
3例	—	ベンレート水和剤	植付から35日後 アミスター20フロアブル (100L/10a)	1回目から14日後 銅剤 (200L/10a)	2回目から14日後 アミスター20フロアブル (300L/10a)																											
4月	採苗	<b>種いも消毒※3</b> <b>蒸熱消毒とは</b> 種いもを水蒸気が発生する専用の装置(写真)に入れ, 48℃100分で基腐病を消毒する技術で, 貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。	<b>収穫</b> 収穫後のくずいもやしよ梗は, ほ場に放置したままにすると乾燥し固くなるため, 残さの粉碎やすき込みは, 水分を十分に含んでいる収穫直後に速やかに行う。																													
				<b>種いも選別</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> <b>本ぽの土壌消毒※2</b> 消毒効果を高めるため, 土壌水分を確保し, 土壌混和後はビニールで被覆する。																											
						<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																									
5月	採苗	<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																													
				6月	後片付け・土壌消毒			<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																							
						7月	採苗			<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																					
8月	後片付け・土壌消毒	<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																													
				9月	採苗			<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																							
						10月	後片付け・土壌消毒			<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																					
11月	採苗	<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																													
				12月	後片付け・土壌消毒			<b>種いも消毒</b> ①種いもに利用可能な株を採取 ②洗浄・選別 ③調整 ④種いも消毒 ⑤貯蔵	<b>残さ処理</b> 速やかな耕うん																							

(1) 苗消毒 ※1

農薬の名称	対象病害虫	希釈倍率	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病, つる割れ病, 黒斑病	500~1000倍	植付前
ベンレートT20水和剤	基腐病, 黒斑病	200倍	植付前

(3) 土壌消毒 ※2

農薬の名称	有効成分	病害	線虫	害虫	雑草
バスアミド微粒剤	ダゾメット	○	○	○	○
クロールピクリン等	クロールピクリン	○	○	○	○

(4) 種いも消毒 ※3

農薬の名称	対象病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
トップジンM水和剤	基腐病, 黒斑病	200~500倍	貯蔵前	1

(2) ほ場での薬剤防除 ※4

農薬の名称	対象病害虫	希釈倍率 又は使用量	10aあたり 使用液量	使用時期	使用回数
フリントフロアブル25	基腐病	250倍	100ℓ	植付前 (土壌散布)	1
		125倍	50ℓ		
		10倍	4ℓ		
フロンサイド粉剤	基腐病	40kg/10a	—	植付前 (土壌散布)	1
フロンサイドSC	基腐病	500mℓ/10a	50~200ℓ	植付前 (土壌散布)	1
トリフミン水和剤	基腐病	1000倍	100~300ℓ	収穫30日前まで	2
アミスター20フロアブル	基腐病	2000~3000倍	100~300ℓ	収穫前日まで	2
ジーフライン水和剤(銅剤)	基腐病	2000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	3
Zボルドー(銅剤)	基腐病	1000倍	200~300ℓ	収穫前日まで	—
ICボルドー-66D(銅剤)	基腐病, 斑点病	500倍	100~300ℓ	—	—
ICボルドー-66D(銅剤)	基腐病	50倍	100~300ℓ	—	—

※記載されている農薬は, 適用一覧表 令和5年10月23日現在の登録内容に基づいています。登録内容が変更されている場合があるので, 表示ラベルの記載内容を確認し, 適正に使用しましょう。  
 ※農研機構生検支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(O1020C)の成果を引用。